

映画新聞

MOVIE NEWS

11月30日(金曜日)

映画「野球部員、演劇の舞台に立つ!」製作配給委員会
〒834-0047
福岡県八女市稲富111-1
電話/FAX:0943-24-9061
email:koushien-642@hi3.enjoy.ne.jp

発行人:鈴木一美
編集:白石ルリ子
高尾美由紀
仁田原陽子
稲富朋子



HPはこちら

ドリパスで再上映実現!!

熱烈な林遣都ファンが殺到!

会場となる秋葉原UDXシアターは、秋葉原駅から徒歩1分のイベントビルの4Fにある。当映画がドリパス再上映リクエストランキング上位に入った為、11月4日(日)東京で第一回目の再上映が行われた。今にも雨が降りそう

な雲行きの午後、30代、40代、50代の女性たちが続々と駆け込んできた。中には男性も混じるが数名と圧倒的少数である。

上映開始1時間前には、入り口付近が混雑し始めた為、支配人の判断で早めの開場となった。そして整然と並んだお客様たちは、次々とパンフレットを購入していく。その数90冊。指定の座席に着く間もなく、期待を膨らませながらパンフレットのページを開いて、事前に映画の内容を理解しようとする丹念に読み込んでいく。そしてほぼ満席の170余席が埋まり、期待の熱気が場内に溢れた。



秋葉原UDXシアターにて 左から鈴木プロデューサー 舟津大地さんと田中奈月さん

プロデューサーから、舟津大地さん(キャップテン役)と田中奈月さん(衣装担当役)が紹介され、演技で工夫したことや面白いエピソードなどが次々に披露され、和みのある雰囲気となった。その

中でも、特に話題が集中したのは林遣都さんについてで、「どんな人ですか?」「何を食べていましたか?」「八女には何日いましたか?」などと熱烈なファンからの質問が沢山飛び交った。

このように、林遣都さん目当てに来たお客様が大半でしたが、上映後、「少年野球の保護者の方の子供たちに何を置いて見せたい。」「子育てを終えた方は「私の青春時代を思い出した。」などの感想がいくつもあつた。

最後に舟津さんと田中さんによる握手会をしたところ、観客全員が握手を求め、全て終わるのに30分ほどかかってしまった。本当に映画と観客の一体感を感じた上映会でした。



俳優さんとの握手に並ぶ観客

あの時の撮影現場の熱気を思い出す!

11月23日(金) 勤労感謝の日、映画製作時にも協力して頂いた『とびかた村映画振興会』主催で上映会が開催された。映画の中で、演劇部員の稽古場として撮影に使用された八女市旧白木小学校での上映ということもあって、地元の方をはじめ、たくさんの方が詰めかけた。

白木地区は飛形山のすそ野にある。気温も市内よりやや低く、空調のない体育館での上映の為、会場はとても冷え込んでいたが、朝早くからとびかた村映画振興会のスタッフがジェットストープを焚いて会場を暖めたり、撮影時の現場写真や小道具を飾り付けたりして観客を迎える準備をしていた。14時上映開始でありながら13時ごろから早くも人が集まりはじめ、出演者のサイン色紙や撮影中の写真、林遣都さんが座ったパイプ椅子、劇中に出てくるボクシンググローブなどを、皆真剣に見つめていた。上映前に振興会会長熊手さんの司会により、原作者の竹島由美子さん、鈴木一美プロデューサー、勤める会長長古川昭人さんから挨拶があり、上映が始まった。

上映後、八女市内からきたという若い女性に『この映画を観る若い女性「林遣都ファン」と思っって「林遣都さんの方ですか?」と話しかけてみたら、「いえ、野球ファンで、知り合いもこの映画に出ていて、今回観るのは2回目です。」と大笑いされた。

また、勤める会長であり、旧白木小学校元校長古川先生の教え子も来場されていて、「亡くな

った息子が高校時代は西短で甲子園に行きました。1年生の時、3年生に新庄選手がいてあの頃を懐かしく思って観ました。とても良かったです。」と話された。主催者は「地元の皆さんにやっつこの映画が届けられて光栄です。」と喜んだ。

この映画は、多様な人たちの思いによって作られ、鑑賞されることによって、改めて作品として完成されていくことを実感させられた。



会場に展示された撮影時使用された小道具や衣装、サイン色紙、写真等



左から) 原作者 竹島由美子 勤める会長 古川昭人 プロデューサー 鈴木一美

高齢者「私の青春がよみがえった」

地元の出演者も急遽参加

11月11日(日)の午後、この映画の撮影が行われた地元八女市で上映会が行われた。

上映会場は、劇中、舞台の撮影にも使用された「おりなす八女」。会場はほぼ多数の観客で埋められた。

この日、会場に偶然受験勉強

に来ていた、演劇部員役の吉田和可さんが、一旦勉強を中断して上映前に挨拶をしてくれた。

上映後、会場から出てきた女性は、目に涙をいっぱいためて「私たち高齢者は、『あーやっ



演劇部員役の吉田和可さん

とけばよかったー」って思う後悔がある。この映画は、特に若い子、学生に観てほしい。けれど今日は一人しか観てなくてあとは高齢者だった。若い子に広げたい。」と語った。当作品は



会場の様子

高齢者にとつて過ぎ去った青春を振り返ることのできる映画であったことを再確認できることとなった。



秋葉原UDXシアターにて 左から桑山プロデューサー、川籠石駿平さん、渡辺佑太朗さん、舟津大地さん

撮影から一年半が過ぎ、それぞれに新しい現場で色々な役を演じて経験を積み、当時に比べても、清々しい大人になったなどという印象を持った。坊主頭から髪が伸びたせいもあるかもしれませんが…。ちなみに渡辺佑太朗さんはNHKBSプレミアム『立花登青

桑山和之プロデューサーの司会による上映後の舞台挨拶では、主役でエース役の渡辺佑太朗さん、キャプテン役の舟津大地さん、ファースト役の川籠石駿平さんが登場し、久しぶりのチームメイトの再会となった。

ドリパス・リクエストの2回月上映が、11月18日(日)前回と同じ秋葉原UDXシアターで行われた。またしても、林遣都さんのファンらしい30代、40代、50代の女性たちが、足早にパンフレットを購入して館内に消えて行った。口コミのおかげで前もって多少の情報をもっている様で、満席の中にも少し落ち着いた雰囲気の開演となった。

春手控え3。舟津大地さんは、日本テレビ『今日から俺は!!』に出演中。また川籠石駿平さんは、映画『内回りの2人』で主演と頑張っている。

ドリパス！ 2回目は更にヒート！

その演劇を経験した野球部員が翌年には甲子園に出場したことを皆さんに披露すると、大変驚かされていた。そして、それぞれの登場人物たちにはモデルがいることや映画を勧める会代表世話人の古川昭人先生の息子さんの実話を題材に取り入れたボクシングのエピソードなど八女地区の方々や映画スタッフ・キャストが一体となって協力し合って出来た映画であることを報告した。

上映後、観客の多くは、映画の中で真摯に描かれていた青春群像に、過ぎし日の青春時代を思い出して涙し、この映画を自分の子供だけにでなく、多くの若者たちにも観てもらいたいと語った。

この声を大事にしながから全国での二次上映に邁進していきたい。

(8)

上映実績

上映日	地域名	上映場所	主催者
2018/5/27	埼玉県さいたま市	埼玉会館ホール	埼玉映画文化協会
2018/5/28	岡山県真庭市	岡山県勝山高校視聴覚室	岡山県教育研究会美佐久支部
2018/6/14	長野県須坂市	長野県須坂高等学校	長野県須坂高等学校
2018/6/15	福岡県北九州市	慶成高等学校体育館	慶成高等学校
2018/6/28	鹿児島県鹿児島市	かごしま県民交流センター	シネマリンク
2018/7/1	埼玉県入間市	入間市産業文化センターホール	埼玉映画文化協会
2018/7/23	大分県日田市	マリエールオークバイン	大分県私学協会
2018/8/22	長野県下伊那郡	下伊那郡農業高等学校	下伊那郡農業高等学校
2018/8/22	福岡県久留米市	ホテルニューグラク久留米	九州全県農業高校研修会
2018/9/11	福岡県みやま市	JA山川選果市場	JA山川
2018/9/13	長野県北佐久郡	軽井沢高等学校	軽井沢高等学校
2018/9/14	福岡県八女市	おりなす八女	八女市PTA連合会全体研修会
2018/9/26	香川県高松市	高松中央高等学校体育館	高松中央高等学校
2018/10/1	長野県長野市	長野日大高等学校	長野日大高等学校
2018/10/4	長野県飯田市	飯田OIDE長姫高等学校	飯田OIDE長姫高等学校
2018/10/10	長野県中野市	中野立志館高等学校	中野立志館高等学校
2018/10/26	熊本県菊池郡	熊本県立大津高等学校	熊本県立大津高等学校
2018/10/28	福岡県福岡市	福岡市総合図書館映像ホール・シネラ	福岡映画サークル協議会
2018/11/1	長野県安曇野市	穂高商業高等学校	穂高商業高等学校
2018/11/1	長野県長野市	篠ノ井高等学校	篠ノ井高等学校
2018/11/2	岡山県倉敷市	倉敷高等学校	倉敷高等学校
2018/11/4	東京都台東区	秋葉原UDXシアター	TOHOシネマズ

上映実績

上映日	地域名	上映場所	主催者
2018/11/8	広島県広島市	崇徳高等学校体育館	崇徳高等学校
2018/11/11	福岡県八女市	おりなす八女	製作配給委員会
2018/11/15	長野県下伊那郡	阿南高等学校	阿南高等学校
2018/11/18	東京都台東区	秋葉原UDXシアター	TOHOシネマズ
2018/11/20	岡山県岡山市	岡山商科大学附属高等学校	岡山商科大学附属高等学校
2018/11/23	福岡県八女市	旧白木小学校体育館	とびかた映画村実行委員会
2018/12/2	福岡県糸島市	一貫山公民館	一貫山公民館
2018/12/2	福岡県糸島市	引津公民館	引津公民館
2018/12/2	福岡県糸島市	姫島保健福祉館	姫島保健福祉館
2018/12/2	福岡県福岡市	TOHOシネマズ天神ソラリア館	TOHOシネマズ
2018/12/7	岡山県岡山市	山陽女子高等学校	山陽女子高等学校
2018/12/7	福岡県八女市	おりなす八女(バリアフリー上映)	八女市障害者週間啓発事業
2018/12/9	福岡県八女市	八幡小学校体育館	八幡校区映画鑑賞会

上映予定

上映日	地域名	上映場所	主催者
2019/1/5	大阪府大阪市	シネマート心齋橋	TOHOシネマズ
2019/1/9	熊本県熊本市	熊本県庁地下大会議室	熊本映画センター
2019/2/3	福岡県八女市	おりなす八女	製作配給委員会
2019/3/17	福岡県八女市	おりなす八女	製作配給委員会
2019/6月ごろ	岡山県岡山市	天神山文化プラザホール	岡山県映画普及センター
2019/7/21・22	福岡県北九州市	7/21 イオンシネマ戸畑 7/22 小倉昭和館	北九州映画サークル協議会

Twitterの感想

★今日は『野球部員、演劇の舞台に立つ』を見てきた。とても良い映画だった。キラキラしてる現実離れた作品が多い中、等身大の高校生な感じが凄く良かった。素直な捕手役の船津大地さんが良い味出して、握手の際も感じの良い青年だったので、今後の活躍も期待します。

★東京オリンピックに向けて、スポーツ重視に偏りがちになっている現状にこそ必要な物語だったと思います。林遣都さん目当てでお気楽に観に行っておいて何ですが、この良作が埋もれるのは勿体無いです。

★繊細な高校生達の映画で もう一度観たくなりました。遣都くんのシーンが思っていた以上に多かった上に、いい味だったキャッチャーの子も終了後舞台挨拶してくれたのが嬉しかった。小中学生から親世代にも 観て欲しい。もっとたくさんの人に！

★高校球児が舞台の稽古を通して成長して行く物語。地域密着で八女の産物、あまおう、八女茶、電照菊が映画の中で要所要所に取り入れられて、丁寧に作られた作品です。上映後にプロデューサーから撮影迄の紆余曲折を聞きました。多くの人に観て欲しい映画です。

★練習試合での相手校の選手がちよっと社会人くらいに見える…(笑)というくらいで、八女北野球部の皆さんは本当に高校球児。逆に役者さんには見えなくらいで、本作のストーリーのように実際の野球部が映画に駆り出されたかのような、そんなリアルを感じていました。

★野球部員、演劇の舞台に立つ！がドリパスで上映されたのを観てきました！申し訳ないくらいモチのロンで林遣都目当てでした！けど、それ抜きにしても面白かったです。バッテリーっていいよね！高校生っていいわ！野球の試合中にかかったコロコロした音楽も好きでした！

★良いシーンは沢山あったけど、一番印象的だったのは、演劇が分からないやん気もないエース君が、最後に自分の言葉で台詞を言ったところ！大人の視点としては、もとの脚本の方がしみじみ来るんだけど、若者にはそういう気持ちでいて欲しいよねって、眩しい気持ち！

★プロデューサーさんの仰る通り遣都くん目当てではありましたが、それを抜きにしても面白かったです！野球部員達がだんだん変わっていく様子にうるうるし、遣都くんのアップにうるうるし…観れてよかったお気に入りのキャプテンと演劇部員のコ美男美女だった

★たとえ林遣都さんを観たくて行った映画や舞台だとしても、彼の演技だけではなく、その映画や、舞台が本当に素晴らしいパワーをくれるのであれば、こんなに素晴らしいことは無いし、いつもそうであって欲しいと思うんです。だから、嬉しかった。いい映画で。涙。



＜原作本＞
著者：竹島由美子
高文研
(定価1,728円)



＜主題歌CD＞
「ユビノサキへ」
Good Coming
(定価1,080円)



＜パンフレット＞
「野球部員、演劇の舞台に立つ！」
(定価700円)

絶賛販売中!

4つの栄冠獲得!



上映会主催者募集!

製作配給委員会では上映会主催者を募集しております。通常版に加え、英語版、バリアフリー版(日本語字幕・音声ガイド)もご用意しております。

※詳しくは製作配給委員会0943-24-9061までお問い合わせ下さい